

# 中部日本ニュース

シネスコ版

高知新聞⇒スノ316  
新愛媛新聞⇒スノ144  
中口新聞⇒スノ117  
カープの寛々エガン-広島西鉄オーナ=戦(広島)ノ16本編

本編同ジ  
No. 481 38. 4. 5

## 密集地帯焼ける

—東京

強風下の四月二日午後、東京日暮里で火災が発生。付近はゴム工場が密集しているため、吹き出す煙はかつての空襲を思わせるものすごさ。ポンプ車八十四台が出動しましたが、この一帯は家屋の密集、車の洪水、水不足の悪条件が重なって、火勢は強まるばかり。三十四棟を焼いて東京では戦後二番目の火災となりました。

アイモ風土記

## 八幡平村

—秋田

春スキーのメッカとして知られる八幡平国立公園の北山麓、秋田県八幡平村でオジナ、オバナという環しいお彼岸の行事が行なわれました。

深い雪の上に松明をつくり、火を放って豊作を祈る珍らしい火祭りです。この地方は有数の豪雪地で短い夏の間の農耕が村の生活のすべてです。若ものたちは卒業とともに集団就職で都会へでてゆき、村は時の流れからもとりのこされてゆくばかりです。そこで村の幹部たちは、八幡平の観光開発で新しい村づくりをはかろうと懸命です。しかも宣伝のしっばなしでは無責任と、毎年春には村長さんが陣頭指揮をとって遭難救助訓練。隊員たちは大枚千円也の自腹を切って熱心に参加しています。困難は村づくりの中にもソロバンをぬきにした東北人の心意気が伺えます。

## 愛大生よ安らかに

—薬師岳第二報

薬師岳東南尾根で発見された愛大生七名の遺体収容作業は、三月二十八日、三十メートルの烈風について行なわれました。雪のケルンを掘り起した岳友たちは、亡き友をいたわるように、その遺体をていねいに包み、雪の斜面を、ダビ地点の薬師沢へと運んだのです。遭難地点は雪深い山の奥とあって遺族たちは、我が子のなきがらに直面することもできなかったのです。花束を胸に抱いて報導班の飛行機に同乗、はるか高空から我が子のダビのようをみつめるある父親の姿が涙をさそいました。四月二日夜、七つの遺骨は遺族の待つ富山県猪谷へ到着。遭難から四カ月ぶり遺族に手わたされたのです。

674

273

311

71